

第4学年1組 外国語活動学習指導案

令和5年7月11日(水) 5校時
男子16名 女子16名 計32名
指導者 HRT: 佐仲 健太
ALT: Christina Higgins

1 単元名 Unit4 What time is it?

2 単元の目標

- 世界の国や地域によって時刻が異なることに気づくとともに、時刻や生活時間の言い方や尋ね方に慣れ親しむことができる。 【知識及び技能】
- 自分の好きな時間について、目的や場面、状況を踏まえながら尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】
- 相手に配慮しながら、自分の好きな時間を理由とともに考え、伝え合おうとすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】

3 単元について

○単元観

本単元は、日頃の一日の生活を題材とし、自分や友達がどんな一日を過ごしているかなどについて、伝え合ったり話し合ったりする表現ができるようにする単元である。また、その一日の生活の中でいちばん好きな時間はどんな時間かを伝え合いながら学習することで、題材を自分事としてとらえやすく、自分や友達の日常生活について相手意識をもちながら、意欲的にコミュニケーションを図ることができる価値ある単元である。さらに、世界の国や地域によって時刻が異なることに気づき、時差についても考えを広げたり深めたりすることもできる単元でもある。

児童はこれまで、自分の好きなものなどとともに自己紹介をしたり、友達を遊びに誘ったり、好きな曜日を紹介し合ったりする学習を行ってきた。これらのこれまで学習してきたことを生かし、本単元の自分や友達の一日の生活について伝え合うことで、お互いの新しい一面を知ることができ、英語によるコミュニケーションの良さを実感しながら学ぶことができる構成となっている。

○児童観

外国語学習に関する本学級の児童の実態は、下記の通りである。(単位:人)

	思う	まあまあ思う	あまり思わない	思わない
①外国語の学習は好きですか。	20	9	2	0
②外国語を話すことは得意ですか。	7	14	9	1
③外国語は大切だと思いますか。	26	4	1	0

本学級の児童は外国語の学習に対して、「好き」や「得意」と答えた児童が半数以上おり、日頃の授業の様子からも、外国語活動に主体的に取り組み、楽しんでいることがわかる。一方で、「あまり得意ではない、得意でない」と答えた児童も10名おり、正しく発音したり正確に伝えたりしなければならないと考えていることが推察される。これまでの学習の中でも、友達との会話ややり取りでは意欲的、積極的に活動するが、全体での発表の活動になると消極的になる児童が見られるのも現状である。

また、「英語を学習する理由」については、「学習が楽しい」、「外国の人と話したい」など、今現在

の外国語の学習や生活の中で、やりがいや意欲をもっていることがわかる。また、「将来の仕事に役立つ」と答えた児童も多く、自分の将来を見据えたときにも外国語を学んでおく必要があると感じたり考えたりしている児童も多い。

以上のことから、本単元の学習では、既習の英語表現や新出の英語表現に慣れ親しむことを十分に言いながら、それをういて自分の思いや考えを目的や場面、状況に応じて何とかして伝えようとする言語活動を多く経験しながら、学習を進めていく。

○指導観

指導に当たっては、まず、HRTとALTのデモンストレーションをもとに、「新発見！好きな時間を伝え合い、自分や友達、先生との絆を深めよう！」という単元のゴールを示し、児童に見通しをもたせるとともに、目的意識や学習意欲を高める。

次に、単元前半から、様々な条件を与えた中で、自分の思いや考えを伝え合う言語活動を行っていく。そうすることで、児童が時刻や生活時間を伝える表現を学ぶ必要性を感じ、その上でALTやデジタル教科書の発音や各種ゲーム等をもとに、本単元で扱う表現に十分に慣れ親しませ、児童が自信をもって発音できるようにしていく。また、自分の日頃の生活を振り返り、自分の好きな時間を考えさせることで、自分らしい表現ができるようにALTとともに適宜助言しながら学習を進めていく。

本時では、**Activity①**として、「何の時間でしょうクイズ」を行い、出題側が時刻や関係する物やことをヒントとして出題し、解答側は何をしている時間かを考える活動を行う。それにより、時刻や生活時間を伝える表現にも十分に慣れ親しむこともでき、ヒントから友達が何をしている時間を伝えようとしているのか考えながら楽しくやり取りができると考える。**Activity②**では、「休日で1番好きな時間」について、その理由とともに既習の語句や表現を用いて伝え合う活動を行う。その際に、「相手の新たな一面を知る」という単元のゴールを意識させ、活動するようにさせることで、目的意識や相手意識がより高まるものと考えられる。

このように単元終末までに、繰り返し既習事項を用いた言語活動を経験していくことで、自分らしく、何とかして自分の考えや思いを伝える資質や能力、意欲を高めていきたい。そうすることで、本校中学年のめざす子どもの姿「外国語でのコミュニケーションを積極的に楽しむ子どもの育成」に迫る学習ができると確信する。

〔言語活動の設定〕

友達や先生の新たな一面を知って絆を深めるために（目的）、自分の好きな生活時間を伝え合い（場面）、お互いの好きな生活時間やその理由を知る（状況）ことで、目的意識や相手意識をもちながら、自分の思いを生き生きと伝え合う主体的な児童の育成につながると考える。

4 取り扱う言語材料

【表現】 What time is it? It's (時刻) . It's ○○ time. How about you?

【語彙】 数字 (one ~ sixty)、日課・時間 ([wake up / breakfast / study / lunch など]time)
(既習事項も含めて、児童が使いたい表現や語彙を扱う。)

5 単元計画（全4時間） 本時 3 / 4

時	目標と主な学習活動	知識・技能	思考・判断 表現	主体的に学習に 取り組む態度
1	・単元のゴールを知り、自分の好きな生活時間について伝え合うとともに、時刻や日課の言い方に慣れ親しむ。	○	○	
2	世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や日課の言い方に慣れ親しむ。	◎	○	
3	自分の好きな生活時間について、理由とともに尋ねたり答えたりして伝え合う 【本時】		◎	○
4	相手に配慮しながら、自分の好きな生活時間とその理由を伝え合おうとする。		○	◎

単元のゴール…新発見！好きな時間を伝え合い、友達や先生との絆を深めよう！

6 本時の学習（3 / 4）

(1) 目標

既習の表現を使って、自分の好きな時間とその理由を伝え合うことができる。

【思考・判断・表現】

(2) 本時の視点

相手（友達や先生）の新たな一面を知ろうという場面を設定し、好きな生活時間とその理由を伝え合うという活動を行うことで、児童が目的や場面、状況に応じて既習事項を使って表現を工夫してコミュニケーションをとることができたか検証する。

(3) 展開

過程	児童の活動	教師のかかわり・指導上の留意点		備考
時間	学習活動	HRT	ALT	
Warm up ⑩	1 Greeting ○あいさつをする。 気分、天気、曜日、日付などを答える。	○天気や曜日、日付について、テンポよくあいさつできるよう進める。	○児童とあいさつを交わし、気分、天気、曜日、日付、時刻を尋ねる。	
	2 単元のゴールを確認する。	○友達や先生の新たな一面を知るという目的を再確認する。		
	3 Today's goal ○本時の課題をつかむ。	○本時の学習内容を紹介し、見通しをもたせる。		

Today's Goal

自分の好きな時間を相手に伝わるように伝え合おう。

Main act 1 ⑩	<p>4 Activity① <何の時間でしようクイズ> ○事前に考えたヒントをもとにクイズを出し合う。 ①時刻 ②関係する物等</p>	<p>○児童と一緒にコミュニケーションポイントを設定する。 ○一緒にゲームに入って活動する。</p>	<p>○自分の好きな時間についてヒントを出し、クイズをする。 ○一緒にゲームに入って活動する。</p>	評価 【思】
	<p>ヒント①: It's ○a.m.(p.m.) ヒント②: ○Ball (好きな時間に関係する物やこと) ヒント③: 必要に応じて</p>			
Main act 2 ⑪	<p>5 Activity② <休日で好きな時間について伝え合う> ○デモンストレーションを聞き、見通しをもつ。 ○グループになり、自分の休日の好きな時間を紹介する。</p>	<p>○全体でクイズをする際、ALTからの出題について児童の支援をする。 ○デモンストレーションを行い、児童に見通しをもたせる。 ○児童と一緒にコミュニケーションポイントを設定する。</p>	<p>○事前に児童が考えていたワークシートをもとに全体にクイズを出題する。 ○デモンストレーションを行い、児童に見通しをもたせる。</p>	評価 【思】
	<p>O: What time do you like? A: I like ○a.m.(p.m.) O: Why? A: It's ○○time. I like ○○. O: I see. (It's nice. / Me, too.)</p>		<p>3人グループで行い、自分の好きな時間を紹介する児童がA、質問する児童がO (Others)の役をする。</p>	
Looking back ⑫	<p>○全体で発表する。 (2~3名)</p>	<p>○活動中は机間指導で助言する。</p>	<p>○活動中は机間指導で助言する。 ○児童の頑張りを称賛する。</p>	振り返りシート
	<p>7 Looking back ○本時の学習の振り返りをする。</p>	<p>○振り返りシートに書かせ、発表させる。</p>	<p>○授業を通しての児童の頑張りを称賛する。</p>	
	<p>8 Good-bye ○終わりのあいさつをする。</p>	<p>○次時の活動を伝え、本時の授業の終わりを伝える。</p>	<p>○一緒にあいさつをする。</p>	

(4) 評価

既習の表現を使って、自分の好きな時間とその理由を伝え合うことができたかを、行動観察や振り返りカードで評価する。

【思考・判断・表現】

(5) 板書計画

Today's Goal	自分の好きな時間を相手に伝えるように伝え合おう。	
Activity①	[POINT] Clear voice, Gesture Smile	<p>午前・午後</p> 
Activity②	[POINT] Clear voice, Reaction	
		